

第20回  
日弁連

# 高齢者・障がい者 権利擁護の集い

2023年(令和5年)

11月22日(水)

13:30~17:30

テーマ

「罪に問われた障がい者・高齢者への  
切れ目のない支援に向けて」

会場

ライトキューブ宇都宮1階大ホール  
栃木県宇都宮市宮みらい1-20  
(JR宇都宮駅改札口から徒歩2分)

手話通訳・要約筆記あり  
参加費  
無料

主催：日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会・栃木県弁護士会

後援：栃木県・宇都宮市・一般社団法人 栃木県社会福祉士会・  
一般社団法人 栃木県精神保健福祉士協会・  
栃木県地域生活定着支援センター・法テラス栃木

## タイムテーブル

13時30分	開会挨拶、来賓挨拶、日弁連活動報告
14時10分～15時10分	基調講演 山本 讓司 氏 (作家・福祉活動家)
15時20分～17時30分	パネルディスカッション 山本 讓司 氏 (作家・福祉活動家) 佐藤 邦男 氏 (広島弁護士会・日本弁護士会連合会刑事弁護センター委員会幹事) 阿部 和史 氏 (一般社団法人栃木県社会福祉士会理事権利擁護委員会委員長) 青木 康夫 氏 (栃木県地域生活定着支援センター長)

近年、罪を犯した障がい者や高齢者の方が、裁判や受刑を終えた社会復帰後において再び犯罪に手を染めてしまうケースが多く見られています。これらは医療や福祉の支援を必要とする人々が、十分な支援を受けられなかったことによって苦境に陥ってしまった事案でもあります。逆に言えば、そういった人々が社会復帰後も切れ目なく支援を受けられる環境を整えられれば、困窮から再び罪を犯してしまうような悲劇を減らすことができるとも考えられます。本集いにおいては、上記のような包括的視点での支援について考え、罪に問われた障がい者・高齢者への支援に関して弁護士を含む司法・福祉関係者が今後さらにどのような取り組みを行うことができるかについて検討し、連携の可能性を探っていくことを狙いとしています。



申込み方法については、右記のQRコードを読み込んでご確認ください。  
なお、懇親会(有料)も右記からお申し込みください。



問合せ先

栃木県弁護士会

〒320-0845 栃木県宇都宮市明保野町1-6  
電話番号：028-689-9000